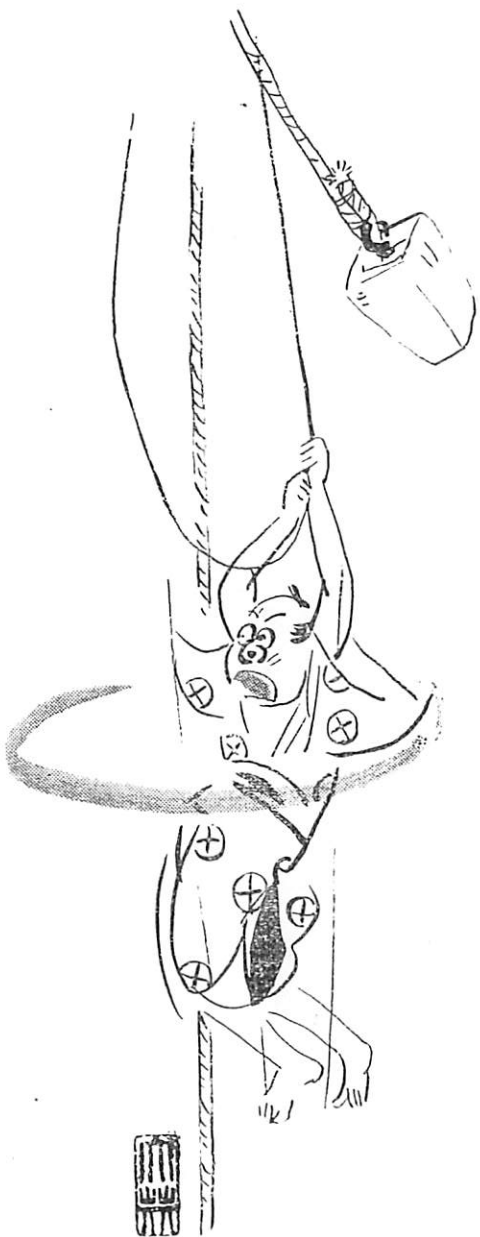


と「番頭」それ久七とん何ふや。私が上かみに違ちがひ無いちウのに、お前まへ紀州や云いふて諸もろかんね。京や無なかつたら、言葉があないボイヤリ仕しやへん、京の何處どこや「丁稚」寺屋の饅頭屋まんとうやだす「番頭」豪ごうい又、變かた商賣しょうばいやなア「丁稚」商賣しょうばいやおまへん、所ところだつせ「番頭」ナニ所ところが寺屋と饅頭屋……そら寺町の満壽寺と違ちがふか



「丁稚」ア、左様左様、夫れから心配無しに鉢はち巻ましてはりまんね、其處そこでおつさんが佛ぶつはんでおばはんが化物かぶつだんね。口の大きなくお腹はらの小チャイく人ひとや。油あぶらの中へ水みづ入れてなア、顔かほを斬きて痛いく

と「番頭」何を聴きて來きやがんね「丁稚」左様さやうやさかい、今晚こんばんから泊とまりらはりまつせ「番頭」ナニ、今晚こんばんから泊とまりるて、諾なしく、コレ皆みなボツく店みせを仕舞しまひや○未まだ早はやうおます「番頭」だんない。女婢にようばいの目見めみ得えの日ひは早はやふ店みせを仕舞しまふ物ものや。コレ子供こども、表うらを掃はいて水みづ撒まちまひよ「丁稚」未まだお陽ひさんが、あたつてます「番頭」「關かめへん、サツサと掃は除ぞしよ」丁稚「豪ごうい面白おもしろいなア。女婢にようばいが目見めみ得えしたら早はや仕舞しまや……向むかひの友とも吉きちとん、私わたしとこナンデ今日こんにち斯ごと様に早はやう仕舞しまふか知してるか、今日こんにち内うちえ別わか嬪べいの女婢にようばいさんが來きた依よてにや。今晚こんばん内うちえ遊あそびに來きてみ。ゴチャくしてラ面白おもしろいで「番頭」コレく、要いらん事を喋しゃべるのや無い。早はやふ内うちえ這こ入れ阿呆あほう奴やつ「丁稚」へエ掃は除ぞ仕して仕舞しまひました「番頭」仕舞しまふたら戸かどを閉しめるのぢや「丁稚」未まだ明あふおますがナ「番頭」だんない。戸かどを閉しめたら神様かみさまへお燈あかり明あかりを上げて廻まわれ「丁稚」へエお燈あかり明あかり上げました「番頭」上げたら消しめて廻まわれ「丁稚」今いま上げた處ところだんがな「番頭」だんない。親方おやぢの身みにも成なれ、油あぶら一いっ升しやう何なん程ほどすると思おもふ「丁稚」ホイく。全ぜんで神様かみさま廻まわり物ものやがな。自分おれに目論見めろんみが有ある物ものやさかい。ほんなら神様かみさま濟すみまへんけど消しさして貰もらひます、貴方あなたはんも豪ごうい御災難ごさいなんでおます「番頭」コラ、餘計よけいな事こと云いわいでも可かえ。消ししたらサア早はやう寝ねるのぢや「皆みな」晚御飯ばんごはんを未まだ喰くべてや仕しまへん「番頭」女婢にようばいの目見めみ得えの日ひ丈だけ位ばい、晚ばんめし喰くべんかて何なにや「皆みな」そんな無茶むちゃな事こと有あるやろか。こら殺生ころしやうや「番頭」サア寝ねよサア寝ねよコレ皆みな早はやふ寝ねなはれや、龜吉かめきち、早はやふ寝ねんかい、何なにしてるのや「龜吉かめきち」へエ、算盤そろばんの稽古きこしてまんのや「番頭」極道ごくどう奴やつ「丁稚」勉強べんきやうして極道ごくどう云いわれたん始めてや「番頭」藤七とうしちとん。寝ねんか、何なにしてなはる「藤